

#5 キリストのからだの実際のためにキリストを生きる

(国際華語特別集会) 2019/6/24-30

I. キリストのからだとしての召会は、キリストから出た純粋な産物です。キリストから出てきて、彼の復活の命を持っているものだけが、彼の補完と配偶者、すなわちキリストのからだになることができます。創2:22-23 こうして、エホバ・神は、その人から取ったあばら骨を一人の女に建造し、彼女をその人の所に連れて来られた。すると、その人は言った、「今度こそ、これが私の骨の骨、私の肉の肉である。この者を『女』と呼ぶことにしよう。それは、この者が『男』から取り出されたからである」。

A. からだのかしらはキリストであり、かしらのからだもキリストです。ですから、キリストをかしらとするキリストのからだは、「あのキリスト」、すなわち団体のキリストです。I コリント 12:12 それは、体が一つであっても多くの肢体があり、体のすべての肢体が多くあっても一つの体であるように、キリストも同様だからです。**B.** キリスト以外のものはすべて、キリストのからだではありません。キリスト以外のものはすべて、キリストのからだの中で異質の要素です。こういうわけで、私たちはパウロと同じように、死にも狂いになって、からだの実際のためにキリストを生きなければなりません。

C このビジョンは、キリストの純粋な要素以外のあらゆるものを排除します。このビジョンは私たちを「無力」にし、私たちの天然の人に属するどのようなものも活用させなくします。月

II. キリストのからだの実際のためにキリストを生きることは、私たちの霊の中に監禁されて、「キリスト・イエスの囚人」、「主の中の囚人」、「鎖につながれている大使」になることです。エペソ3:1 こういうわけで、私パウロは、あなたがた異邦人のために、キリスト・イエスの囚人となっています。

4:1 こういうわけで、主の中の囚人である私は、あなたがたに懇願します。召されたあなたがたは、その召しにふさわしく歩きなさい。**A.** 私たちはキリストの中に監禁されるとき、彼の啓示を受けて、彼の無限の度量の中で、彼を経験します。すなわち、彼が召会を愛するキリストであること、新しい人を創造するキリストであること、すべてのものをかしらにつり上げるキリストであること、賜物を生み出し賜物を与えるキリストであること、ホームを造るキリストであることを経験します。それはキリストのからだを建造するためです。

B. キリストの大使としてキリストを生きる人は、もはや自分自身の自由を持っておらず、もはや自分自身の便宜にしたがって事を行なうこともできません。彼がどこへ行くか、彼が何を行なうかは、彼の選択によるのではなく、神の導き管理する御手の下にあり、神の導き管理する御手によります。

C. キリストのからだの実際のためにキリストを生きることは、キリストの凱旋行進の中の捕虜となって、私たちの霊の中で、キリストの御前ですべての事を行ない、彼の務めの働きにおける勝利を祝賀し、キリストのからだの実際のためにキリストにあって語ることです。火

III. キリストのからだは、キリストを経験した結果です。ですから、私たちは死にも狂いになって祈る必要があります。それは私たちがキリストを生きて、キリストのからだに実際となるためです。キリストのからだの実際のためにどのようにキリストを生きるかの秘訣は、ローマ第8章にあります。それは命の霊の法則の解釈、描写、説明、提示です：

ローマ8:2 なぜなら、命の霊の法則が、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から、私を解放したからです。

4-6 それは律法の義の要求が…霊にしたがって歩く私たちにおいて、満たされるためです。なぜなら…霊にしたがっている者は、その霊の事柄を思うからです。…霊に付けた思いは命と平安です。

A. ローマ第8章は、「命の霊の法則」というこの用語を用いて、三一の神が手順を経て究極的に完成されて命を与える霊と成った後、どのようにして私たちの霊の中にインストールされ(組み込まれて)、私たちの内側で一つの法則、一つの自然で自動的な原則と力になったかを描写しています。これは、神のエコノミーにおける最大の発見、さらには最大の回復の一つです。火

B. 私たちは、インストールされて活動している命の霊の法則と協力して、インストールされた自動的な神の自然で自動的な力、すなわち、三一の神の「電流」である内住の霊に「スイッチを入れる」必要があります。この法則に「スイッチを入れる」ことは、主に触れ続けること、主との継続的な接触の中にとどまること、習慣的に主と交わること、霊にしたがって歩くことによって主の継続的な注入を受けることです：**1.** ミングリングされた霊、すなわち、私たちの霊とミングリングされた命の霊の法則の中で振る舞い、活動し、行動し、生活することは、キリストのからだの中で振る舞い、活動し、行動し、生活することです。

2. 私たちの霊の中には、神の臨在があり、神の語りかけがあり、神との集会があり、また神が命の霊の法則として活動することを通しての神の分与があつて、ご自身を私たちの内側のすべての部分に分け与えます。

3. 霊にしたがって歩くことは、どんな時にも霊の中で祈ることです：**a.** 私たちの絶え間ない、継続的な、生きた、呼吸する祈りは、「主よ、私を通して生きてください」であるべきです。I テサロニケ5:17 絶えず祈りなさい。

b. エペソ人への手紙の啓示によれば、私たちは絶えず祈る人となって、からだの生活の実際を持たなければなりません。私たちは、肉体的にだけでなく、心理的にも霊的にも、目を覚まし、完全に目覚め、私たちの眠る性質と眠る存在に抵抗して戦わなければなりません。コロサイ 4:2 うまずたゆまず祈り、感謝しつつ祈りの中で目を覚ましていなさい。エペソ6:17-18 …その霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り…

c. 私たちは、私たちの霊を活用して立ち上がり、私たちの体と心理に打ち勝ち、主の言葉に注意を払って目を覚まして祈り、どんな時にも霊の中で祈り、目を覚まし、警戒して、私たちの祈りの生活を維持する必要があります。

d. 私たちはキリストのからだの実際のために、キリストを生きる習慣を建て上げなければなりません。これは、祈りの習慣を建て上げることに依ります。すなわち、霊なるキリストを呼び求め、彼と会話することによって絶えず彼を吸い込む習慣を建て上げることに依ります。火

4. 私たちは、その霊で満たされることによって、またキリストの言葉を私たちの内に豊かに住ませることによって、命の霊の法則にしたがって、キリストのからだの実際のためにキリストを生きることが出来ます。コロサイ3:16 知恵を尽くして、キリストの言をあなたがたの内に豊かに住ませ、詩と詩歌と霊の歌とをもって、互いに教え戒め合い、恵みをもって、心から神に向かって歌いなさい。

5. 私たちは、空であり開かれた器となることによって、命の霊の法則にしたがって、キリストのからだの実際のためにキリストを生きることが出来ます：**a.** パウロの十四の書簡は、「開かれた器」という言葉に要約することができます。

b. 私たちは極みに至るまで主を愛し、自分自身を彼に対して完全に、徹底的に、絶対的に開き続ける必要があります。そして彼のからだのために、彼に私たちのすべてとなつていただき、また私たちの中で、私たちを通して、私たちのために、すべての事を行なうていただく必要があります。

C. 神聖な能力としての命の霊の法則は、私たちの内側で活動し、自然に私たちに神を生きさせ、神格においてではなく命と性質において神とならせます。エレミヤ31:33 これらの日々の後に、私がイスラエルの家と結ぶ契約はこれであると、エホバは告げられる。私は私の律法を彼らの内なる各部分に置き、それを彼らの心に書き記す。私は彼らの神となり、彼らは私の民となる。エゼキエル36:27 私は、私の霊をあなたがたの内に置いて、あなたがたに私のおきてに歩ませ、私の規定を守り行なわせる。**D.** 神聖な能力としての命の霊の法則は、私たちの内側で活動し、自然に私たちをキリストのからだの肢体に構成し、あらゆる種類の機能を持たせます。それによってからだ全体は、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至ります。**金土**

Crucial Point①:キリストの中の囚人 対 自己の中の自由

OL1:キリストのからだの実際のためにキリストを生きることは、私たちの霊の中に監禁されて、「キリスト・イエスの囚人」、「主の中の囚人」、「鎖につながれている大使」になることです。**OL2:**私たちはキリストの中に監禁されるとき、彼の啓示を受けて、彼の無限の度量の中で、彼を経験します。すなわち、彼が召会を愛するキリストであること、新しい人を創造するキリストであること、すべてのものをかしらに上上げるキリストであること、賜物を生み出し賜物を与えるキリストであること、ホームを造るキリストであることを経験します。それはキリストのからだを建造するためです。

パウロが自分をキリストの囚人と考えたのは、彼がキリストによって監禁されていたからです。…キリストがパウロの牢獄でした。ある日、あなたが愛するキリストが、あなたの牢獄になるでしょう。遅かれ早かれ、神のすべての執事、神の豊富のすべての奉仕者、キリストを忠信に愛するすべての者は、キリストによってだけでなく、キリストの中に監禁されるでしょう。あなたは彼を愛すれば愛するほど、ますます彼の中にいるでしょう。ついに、彼があなたの牢獄になるまでに、あなたは彼の中にいるでしょう。いったんこの牢獄の中に入れられると、あなたは出たくなくなるでしょう。なぜなら、あなたはこの牢獄をとっても愛するからです。ここであなたはキリストを極みまで享受します。

聖書を愛するすべての人は、エペソ人への手紙を高く評価します。…エペソ人への手紙は、聖書の中で最高の啓示を含んでいます。この啓示は、キリストの中に監禁されていた人、キリストを自分の牢獄として享受していた人に与えられました。これは、天的で神聖なものを見るために、私たちは主の中の囚人となる必要があることを示しています。私たちは自由を持てば持つほど、ますます盲目になります。しかしキリストが私たちの牢獄であるなら、私たちの目は開かれて天のビジョンを見て、最高の啓示を受けるでしょう。

適用:在職青年・大学院生編(1)

あなたはキリストの中に監禁されるべきです。あなたの同僚は無制限に残業したり、上司や先輩との付き合いのために、度々飲み会に行ったりします。キリストの囚人として、あなたにはそのようにする自由がありません。あなたは、次の事柄を客観的に比較してください。「上司や先輩に付き合っ、彼らに頼って会社で前進すること」と「無限の度量の中でキリストを経験して、主に信頼して会社で前進すること」のどちらがより優れているかを良く考えてください。もちろんあなたは上司や先輩との良い人間関係を保つ必要がありますが、主を愛し、主の中に監禁されているので、過度に残業したり頻繁に飲み会に行ったりする自由はありません。

あなたがはつきりさせないといけないうのは、どちらかを選択しなければならぬ、ということです。世の中の人のように

自由に振舞うなら、「キリスト・イエスの囚人」ではありません。そうであれば、エペソ書にあるキリストの奥義である召会、キリストのからだに関するビジョンと経験はありません。神のエコノミーに従って、あなたのビジネス・ライフや研究生活が祝福されることもありません。もしあなたが召会生活のゆえに、上司との飲み会に行けないことで文句を言ったり、飲み会に行くことで集会に行けない言い訳を言ったりしているのであれば、この選択について決心していないということです。あなたはどちらかしか選べません。あなたがモーセのように信仰によって賢い選択を選べますように！

ヘブル 11:24 信仰によって、モーセは成人した時、パロの娘の子と呼ばれることを拒み、**25** 罪のはかない享樂にふけるよりは、むしろ神の民と共に虐待されることを選び、祈り:「おお主イエスよ、私の前には二つの選択肢があります。「人を恐れ、人に媚びる選択肢」と「神を畏れ、神を愛し、神に信頼する選択肢」です。あなたの恵みとあわれみにより、私をキリストの中の囚人にしてください。私は進んで不自由になることを選びます。主の中の囚人として、キリストの奥義である召会、キリストのからだに関するビジョンを見せて、経験させてください。キリストのからだの建造のために、私のビジネス・ライフを捧げます。主が私のビジネス・ライフも祝福してください。アーメン！」

Crucial Point②:神のエコノミーにおける最大の発見: 命の霊の法則が私の霊の中にインストールされている

OL1:私たちは、インストールされて活動している命の霊の法則と協力して、インストールされた自動的な神の自然で自動的な力、すなわち、三一の神の「電流」である内住の霊に「スイッチを入れる」必要があります。この法則に「スイッチを入れる」ことは、主に触れ続けること、主との継続的な接触の中にとどまること、習慣的に主と交わること、霊にしたがって歩くことによって主の継続的な注入を受けることです。**OL2:**私たちの霊の中には、神の臨在があり、神の語りかけがあり、神との集会有り、また神が命の霊の法則として活動することを通しての神の分与があつて、ご自身を私たちの内側のすべての部分に分け与えます。

OL3:私たちは、私たちの霊を活用して立ち上がり、私たちの体と心理に打ち勝ち、主の言葉に注意を払って目を覚まして祈り、どんな時にも霊の中で祈り、目を覚まし、警戒して、私たちの祈りの生活を維持する必要があります。

OL4:私たちはキリストのからだの実際のために、キリストを生きる習慣を建て上げなければなりません。これは、祈りの習慣を建て上げることに依ります。すなわち、霊なるキリストを呼び求め、彼と会話することによって絶えず彼を吸い込む習慣を建て上げることに依ります。ローマ 8:1 **そこで今や、キリスト・イエスの中にある者には、罪定めがありません。2** なぜなら、命の霊の法則が、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から、私を解放したからです。

三一であり、手順を経た、内住の霊となった神は、まず私たちの霊の中へとインストールされて(組み込まれて)います。それから、私たちの霊から、彼は私たちの思いの中へと広がり、私たちの思いから最終的に私たちの体に浸透します。私たちの中へとインストールされた神は、命の霊の法則です。今日、この神は私たちのためにあらゆる事を行ないますが、それは活動によってではなく、常に法則によってです。…[今日]私たちはただ霊にしたがって歩く必要があります。それは、私たちが思いを霊に付けることを意味します。私たちが霊にしたがって歩くと、多くのすばらしい事が法則によって私たちの内側で起こります。それは私たちの内側で働く神です。

伝統的なキリスト教の観念によれば、私たちが特定の

事のために神に祈れば、神は入って来て活動として何かを行ないます。しかし、ローマ 8 章によれば、神の新約エコノミーの中で、彼はそのように働かれません。それは旧約のエコノミーでした。…しかし、新約においては…神は三一の神として、手順を経て、内住の、すべてを含む、命を与える霊と成りました。そして今日、その霊は、ローマ 8 章によれば、一つの法則です。この意味は、それが私たちの内側で働く手順を経た神の自然で自動的な原則であるということです。新約エコノミーにおいて、神が彼の贖われた人々のために働くのは、活動によってではなく、自動的な原則によってです。神が私たちの内側で活動によってではなく、法則によって働くことは、…神のエコノミーにおける最大の発見、さらには最大の回復の一つです。

私たちは…彼と協力する必要があります。…この法則と協力することは、霊にしたがって歩くことであり、霊にしたがって歩くことは、この働く法則と協力する方法です。この法則はインストールされていますが、法則の機能と法則の活動は、あなたの協力を必要とします。そして、あなたの協力はまさに霊にしたがって歩くことです。

適用: 青少年・大学生編

PC やスマートフォンには多くの便利なソフトウェアがインストールされていますので、それらを用いて、天気予報を検索することなどができます。主を賛美します。手順を経た三一の神は法則として、私たちの霊の中に既にインストールされています。電源をスイッチ・オンして、ソフトウェアを起動させればいよいよ、霊に戻り、霊を活用すれば、自動的に神は法則として内側で働きます。

この命の霊の法則は、自動的に働く法則ですから、いつでも、どこでも、あなたが主の御名を呼び、霊に戻り、思いを霊に付けさえすれば、いつでも自動的に働きます。あなたはただ、**(1) 命の霊の法則が既にあなたの中にインストールされていることを発見し、(2) 主の御名を呼び、霊を活用し、思いを霊に付けて霊に従って歩むだけです。**これが、あなたが行うべきあなたの協力です。神があなたの内側で法則によって働くことは、神のエコノミーにおける最大の発見です。

墮落によって、あなたの体は肉となり、あなたの魂は自己になってしまいました。自己は神の事柄に関して、全く無力で役に立ちませんし、修理することもできません。従って、あなたの肉に従って生きる生活、または自己に従った生活は“Going down”の生活です。しかし、三一の神が法則としてインストールされているあなたの霊に戻り、霊に従って歩むなら、あなたは“Going up”の生活を送ることができます。あなたの体の下る傾向、例えば、「今日は疲れているので、休みたい」などに対抗し、また、あなたの心理的な下る傾向、例えば「気分がすぐれないので、集会を休みたい」などに対抗して、霊を活用して“Going up”してください。あなたは、“Going up”の生活をするために、目を覚まし、警戒して、祈りの生活を維持する必要があります。**エペソ 6:17…その霊である神の言葉を、18 すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽くし、このために目を覚ましていなさい。**

祈り: 「おお主イエスよ、召会生活の中で私は命の霊の法則が、私の霊の中にインストールされていることを発見しました。主を賛美します。私は、自分の霊を活用して立ち上がり、自分の体と心理の下る傾向に打ち勝ち、主の言葉に注意を払って目を覚まして祈り、どんな時にも霊の中で祈り、祈りの生活を維持します。私が祈りの習慣を立てあげることで、“Going up”の学校生活を持つことができますように。」

Crucial Point③: 主に対して能動受動態であることを学び、主で満たされ、主にすべてのことを行っていただく

OL1: 私たちは、その霊で満たされることによって、またキリストの言葉を私たちの内に豊かに住ませることによって、命の霊の法則にしたがって、キリストのからだの実際のためにキリストを生きることができます。**OL2:** 私たちは、空であり開かれた器となることによって、命の霊の法則にしたがって、キリストのからだの実際のためにキリストを生きることができます。**OL3:** 私たちは極みに至るまで主を愛し、自分自身を彼に対して完全に、徹底的に、絶対的に開き続ける必要があります。そして彼のからだのために、彼に私たちのすべてとなっていていただき、また私たちの中で、私たちを通して、私たちのために、すべての事を行なっていただく必要があります。**OL4:** 神聖な能力としての命の霊の法則は、私たちの内側で活動し、自然に私たちをキリストのからだの肢体に構成し、あらゆる種類の機能を持たせます。それによってからだ全体は、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至ります。

ローマ 9:23 において、パウロは神が私たちを「**栄光に至るあわれみの器**」として創造したと告げています。それから、**Ⅱコリント 4:7** で、彼は「**私たちはこの宝を土の器の中に持っています**」と言っています。これら二つの節は、私たちがキリストと召会を経験するための基本的な秘訣と考えることができます。あなたはキリストと召会に関する多くのメッセージを聞いているかもしれませんが、もしあなたが開いた器でなければ、キリストと召会は道がありません。開いた器の意味は何でしょうか？ 開いた器は、満たされるために自分を開き続けること以外に何もありません。手順を経た神、すなわち三一の神、すべてを含む霊、複合の霊は、ここであなたの中へと入るために開くのを待っています。彼がどれほどあなたの中へと入るかは、あなたがどれほど彼に開くかにかかっています。

主はあなたに能動受動態であってほしいのです。これが意味することは、彼があなたに彼を愛してほしく、またいつも彼に対して開き続けてほしいのですが、行ないをやめてほしいということです。そのとき、あなたは自分が救われ、力づけられ、聖別されることを見るでしょう。あなたは主の行ないを真に享受する者となります。あなたは祈るとき、いつも感謝に満ちるでしょう。…あなたは主があなたを助けて勝利を得させたり、罪に打ち勝たせたり、忍耐強くならせてくださるよう祈る必要はありません。あなたがこのように祈って、主に助けてくださるよう求めるとき、最終的にあなたを助けるのは主ではありません。あなたが自分を助けているのです。そのうち、あなたはあまり感謝しなくなるでしょう。なぜなら、あなたは自分がすべてを行なったことを認識するからです。あなたはただ彼を愛し、自分を彼に開き続け、彼にあらゆる機会を与えて、彼が行ないたいことをすべて行なっていただく必要があります。あなたは享受する人となって、彼を享受し、彼の行なうことを享受するでしょう。ですから、あなたが祈るときはいつでも、あなたの口からは感謝が出てくるでしょう。なぜなら、主に対してとても感謝しているからです。

これは、あなたがだらしなかつたり、無関心であつたり、愚かであつたり、眠っていたりするという意味ではありません。違います。あなたは警戒しており、非常に冷静です。あなたは主を愛し、自分自身を彼にいつも開き続けます。しかし、あなたは何も行ないませんが、彼がすべてを行ないます。これは可能であるだけでなく、これはまた主によって要求されています。主はあなたに自分の行ないを停止するよう要求しています。しかし、彼はあなたに眠っていたり、無関心であつたりしてほしくありません。彼はあなたに

非常に警戒してほしいのです。彼を愛し、彼に自分自身を開き続けてください。彼に毎日、教えてください、「主よ、私はあなたを愛します。主よ、私はここであなたに開きません。主よ、私をあわれんでください。あなたの恵みによって、私は自分の存在のどの部分もあなたに閉じたくありません。私は自分を完全に徹底的にあなたに開きます」。もしあなたがこのようにしてみるなら、何が起るかを見るでしょう。あなたは自分の勝利について心配する必要はありません。あなたは短気を起こすことを心配する必要はありません。

適用: 在職青年・大学院生編(2)

新約の福音の祭司の奉仕にあずかるため、あなたはその霊で満たされる必要があります。そのためにあなたは開いている器である必要があります。神はあなたを道具としてではなく、器として創造されました。神はあなたに働いてほしいのではなく、あなたの器を神で満たし、あなたを通して神が表現されるようにしたいのです。これがあなたに対する神の基本的な考えです。

あなたが器であることを理解した上で、あなたは神に対して、能動受動態(Active-Passive)であることを学んでください。一方で、あなたはその霊で満たされるため、能動的であるべきです。それは、あなたがだらしなかつたり、無関心であったり、愚かであったり、眠っていたりするのではなく、警戒しており、非常に冷静で、主を熱烈に愛し、自分自身を主にいつも開き続けるということです。

他方、受動的であるべきです。あなたは何も行わず、主に行っていたりすべきです。主に開き、主で満たされたのち、主にすべてのことを行っていただきます。例えば、あなたは会社の重要な会議に参加して、何かを決定する必要があります。その日だけでなく、毎朝復興を実行して、日々その霊で満たされるべきです。そして、その会議に主と共に参加して、「主よ、あなたが私の聴く力、理解力、洞察力、決断力になってください。私は自分に頼って、聴き、理解し、決定したくありません。そのようにすれば、私は必ず失敗するからです。主に頼り、主の語りかけに従います」と祈ってください。そして、実際に決定しないといけない時が来たら、「主イエスよ、私は様々なことを聴いた後、このProjectを進めるべきであると感ずいます。しかし、私が単独でこのことを決定することはできません。私はあなたに従います。私は思いを霊に付けて、ミングリングされた霊に従います。あなたがGoであれば、私は行きます。そうでないなら、私は行きません。あなたが私の内側で決定となってください」と祈ってください。

Iコリント 15:10 しかし、神の恵みによって、今の私があるのです。そして私に対する神の恵みは、無駄にはなりません。それどころか、私は彼らのだれよりも多く労苦してきました。しかし、それは私ではなく、私と共にある神の恵みです。

高い福音 第12課 愛する父なる神(下)

ルカ 15:20 こうして彼は立って、父の所に帰って来た。ところが、彼がまだ遠く離れていたのに、父は彼を見て深く同情し、走り寄って彼の首を抱き、愛情を込めて口づけした。21 息子は言った、『お父さん、私は天に対しても、あなたの前でも、罪を犯しました。もう、私はあなたの息子と呼ばれる資格はありません』。22 しかし、父は奴隷たちに言った、『急いで、あの最上の衣を持って来て彼に着せ、手に指輪をはめ、足にサンダルをはかせなさい。23 また、肥えた子牛を引いて来て、ほふりなさい。食べて楽しもうではないか。24 私のこの息子が死んでいたのに生き返り、失われていたのに見つかったのだから』。こうして彼らは楽しみ始めた。

神は人を義とされる

父が彼に口付けすると、息子は直ちに準備してきた文章を言い始めました。しかし父は彼が最初の三つの文を言い終わらぬうちに彼を遮りました。息子は「私はもはやあなたの息子と呼ばれる資格はありません」と言いました。しかし父はしもべたちに言いました、「急いで最上のあの衣を持ってきて、彼に着せなさい」。父は息子が、自分は息子と呼ばれる資格がないと言うのを聞くのは耐えられなかったのです。彼はしもべたちに最上のあの衣を持ってくるようにと命じました。「あの」という語は重要です。最上のあの衣はずっと前に準備した衣でした。父が語ったとき、しもべたちはそれがどれであるかを知っていました。父はただ「最上のあの衣」と言いますればよかったです。それでしもべたちはすぐ理解しました。父はまた息子の手に指輪をはめ、足にサンダルをはかせ、肥えた子牛をほふらせました。これらはすべて息子の期待を超えていました。

ちょうど息子が行ったように、私たちも文章を準備します。しかし、神は最上のあの衣を持ってこられます。「しかし」という単語が強調されるべきです。それは新約聖書の中でも一つの大きな単語です。この「しかし」が私たちを救います。私たちは罪に定められるべきでした。「しかし」神は私たちを義とされました。私たちは火の池に行くべきでした。「しかし」私たちはそうではなく聖なる宮にあずかっています。衣を着ることは私たちの義であるキリストを着ることを表徴します。一人の罪人がキリストを着るとき、彼は神にふさわしくなり義とされます。父はまた息子にサンダルをはかせました。サンダルは人を地から聖別します。人が神に立ち返り、義とされ、聖霊により証印を押されるとき、彼は地から聖別されることが出来ます。肥えた子牛をほふることは、私たちの命と享受として私たちのために備えられたキリストを表徴します。キリストが私たちの中に入る時、はじめて私たちは満たされ幸福になることができます。

神と人は共に楽しむ

父と息子とが共に食べ飲みし幸福であったのはこの時でした。息子が戻るまで、父には喜びがありませんでした。息子が家を離れて、さ迷い苦しんでいる間、父もまた家にあつて苦しんでいました。これは罪人が神から離れて、さ迷い苦しんでいるとき、神も不幸であることを示しています。罪人が神と共に家にいて、食べて楽しんでいる時、はじめて神に喜びがあるのです。失われた弟は見いだされました。彼は死んでいたのにまた生き返りました。これは神から離れている罪人は失われており、また死んでもいることを意味します。しかし彼が神に立ち返るとき、彼は父によって受け入れられまた義とされます。言い換えると、彼は見いだされ、また彼は生き返るのです。

詩歌 728 福音 一家に帰る

- 主をはなれ、まようもの、なぜかえらん？
つみに生き、くるしみ、なぜかえらん？
(復) 1 かえれ、いえに！ まよわずに；
愛のかみ待ちたもう、かえれや、と
- ながく主をはなれて、まよいしが、
悪しきみちあとにし、主にかえらん。
(復) 2-5 かえれ、いえに！ まよわずに；
愛のかみのいえに、いま、かえらん！
- おくのとしつきを、浪費せしが、
きょうこそ悔いあらため、主にかえらん。
- 放蕩し、つみおかして、つかれしが、
主のあいにとよりて、主にかえらん。
- 虚偽にしつぼうして、きずついた、
主はのぞみ、ちからぞ、主にかえらん。